

中 学 校

令和 3 年度

# 教育研究員研究報告書

社 会

東京都教育委員会

## 目 次

I	研究主題設定の理由	1
II	研究の視点	2
III	研究の仮説	2
IV	研究の方法	2
V	研究の内容	2
VI	研究構想図	3
VII	研究の実践事例	4
	〈1 事例1 公民的分野〉	4
	〈2 事例2 歴史的分野〉	7
	〈3 事例3 地理的分野〉	12
VIII	研究の成果	15
IX	今後の課題	16

## 生徒の主体性を引き出すための単元を通じた指導の工夫

### I 研究主題設定の理由

令和3年度から全面実施となった中学校学習指導要領（平成29年告示）では、各教科等の目標及び内容が、育成を目指す資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）に沿って再整理され、各教科等においてどのような資質・能力の育成を目指すのかが明確に示された。このことにより、教師が「子供たちにどのような力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた視点からの授業改善を図る、いわゆる「指導と評価の一体化」を実現し、子供たちに未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むことが期待されている。

評価に当たっては、教師が生徒のよい点や進歩の状況を積極的に評価し、生徒が学習したことの意義や価値を実感できるようにすることで、生徒が自分自身の目標や課題をもって学習を進めていけるようにすることが大切である。また、各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握するために、指導内容や生徒の実態に応じて単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程の適切な場面で評価を行うことが必要である。その際、学習の成果だけでなく学習の過程を一層重視することが求められている。

「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」（中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会 平成31年1月21日）においては、学習評価について、「学期末や学年末などの事後での評価に終始してしまうことが多く、評価の結果が児童生徒の具体的な学習改善につながっていない」、「現行の『関心・意欲・態度』の観点について、挙手の回数や毎時間ノートを取っているかなど、性格や行動面の傾向が一時的に表出された場면을捉える評価であるような誤解が払拭し切れていない」などの課題が示されている。これらのことから、知識及び技能を習得させたり、思考力、判断力、表現力等を育成したりする場面に関わって「主体的に学習に取り組む態度」の評価を行い、その評価の結果を教師の指導や生徒の学習の改善に生かすことで、バランスよく三つの資質・能力を育成していくことが重要である。

「学びに向かう力、人間性等」は、知識及び技能、思考力、判断力、表現力等をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素である。そのため、本研究においては、「学びに向かう力、人間性等」に焦点を当て、単元の導入、単元の途中、単元のまとめのそれぞれにおいて、単元を見通した「問い」と関連した指導の工夫と、単元を見通した「問い」と関連した指導を効果的に行うための手だての工夫を行うことにより、生徒の主体性を引き出し、「主体的に学習に取り組む態度」を養うことができれば、様々な事象に関心をもち、自ら学び続ける生徒の育成に結び付くのではないかと考え、本研究主題を設定した。

## II 研究の視点

本研究は、教科や分野、単元のねらいを達成するために、中学校社会科の指導の改善・充実を図ることを目的として、次の2点を研究の視点とした。

- 1 単元を見通した「問い」と関連した指導の工夫
- 2 単元の導入、単元の途中、単元のまとめのそれぞれにおいて、単元を見通した「問い」と関連した指導を効果的に行うための手だての工夫

## III 研究の仮説

単元の導入、単元の途中、単元のまとめのそれぞれにおいて、単元を見通した「問い」と関連した指導を工夫することにより、生徒の主体性を引き出すことができるだろう。

## IV 研究の方法

- 以下の資料を参考に文献研究を行う。
  - ・中学校学習指導要領（文部科学省 平成29年3月）
  - ・中学校学習指導要領解説総則編（文部科学省 平成29年7月）
  - ・中学校学習指導要領解説社会編（文部科学省 平成29年7月）
  - ・児童生徒の学習評価の在り方について（報告）  
（中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会 平成31年1月21日）
  - ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校社会  
（文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター 令和2年3月）
- 検証授業や研究員の所属校における取組で得られた成果と課題をまとめる。

## V 研究の内容

### 1 単元を見通した「問い」と関連した指導の在り方に関する研究

生徒の主体性を引き出すために、単元の導入、単元の途中、単元のまとめのそれぞれにおいて、次の(1)～(3)の単元を見通した「問い」と関連した指導を工夫する。

- (1) 単元の導入で、生徒に単元を見通した「問い」に対する予想を立てさせ、学習の見通しをもたせる。
- (2) 単元の途中で、生徒が立てた単元を見通した「問い」に対する予想を振り返らせ、生徒の学習状況を基に助言・支援を行う。
- (3) 単元のまとめで、単元を見通した「問い」と関連し、学習の中で身に付けたことを活用して取り組む課題を設定し、社会との関わりを意識して課題を追究したり解決したりする活動に取り組みさせる。

### 2 単元の導入、単元の途中、単元のまとめのそれぞれにおいて、単元を見通した「問い」と関連した指導を効果的に行うための手だてに関する研究

1で示した単元を見通した「問い」と関連した指導を効果的に行うために、生徒が単元を通して学習する内容を把握したり、各時間で学習した内容を記録して、振り返りの際に活用したりすることができるワークシート及び学習者用端末を活用した教材

を開発する。

## VI 研究構想図

### ◆教科の目標より

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

### ◆背景

【中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編】  
単元など内容や時間のまとまりの中で、例えば、主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに設定するか、対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに設定するか、学びの深まりをつくり出すために、生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか、といった視点で授業改善を進めることが求められる。

【児童生徒の学習評価の在り方について(報告)】(平成31年1月21日)  
「学びに向かう力、人間性等」は、知識及び技能、思考力、判断力、表現力等をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素であり、学習評価と学習指導を通じて「学びに向かう力、人間性等」の涵養を図ることは、生涯にわたり学習する基盤を形成する上でも極めて重要である。

### ◆目指す生徒像

様々な事象に関心をもち、自ら学び続ける生徒

### ◆研究主題

生徒の主体性を引き出すための単元を通じた指導の工夫

### ◆研究の仮説

単元の導入、単元の途中、単元のまとめのそれぞれにおいて、単元を見通した「問い」と関連した指導を工夫することにより、生徒の主体性を引き出すことができるだろう。

### ◆研究の内容

#### 1 単元を見通した「問い」と関連した指導の在り方に関する研究

生徒の主体性を引き出すために、単元の導入、単元の途中、単元のまとめのそれぞれにおいて、次の(1)～(3)の単元を見通した「問い」と関連した指導を工夫する。

- (1) 単元の導入で、生徒に単元を見通した「問い」に対する予想を立てさせ、学習の見通しをもたせる。
- (2) 単元の途中で、生徒が立てた単元を見通した「問い」に対する予想を振り返らせ、生徒の学習状況を基に助言・支援を行う。
- (3) 単元のまとめで、単元を見通した「問い」と関連し、学習の中で身に付けたことを活用して取り組む課題を設定し、社会との関わりを意識して課題を追究したり解決したりする活動に取り組ませる。

#### 2 単元の導入、単元の途中、単元のまとめのそれぞれにおいて、単元を見通した「問い」と関連した指導を効果的に行うための手だてに関する研究

1で示した単元を見通した「問い」と関連した指導を効果的に行うために、生徒が単元を通して学習する内容を把握したり、各時間で学習した内容を記録して、振り返りの際に活用したりすることができるワークシート及び学習者用端末を活用した教材を開発する。

## VII 研究の実践事例

### 1 事例1 公民的分野

#### (1) 単元名

B 私たちと経済 (1) 市場の働きと経済

#### (2) 単元の目標

ア 身近な消費生活を中心に経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方について理解するとともに、諸資料から関連する情報を効果的に調べまとめる。

イ 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について、多面的・多角的に考察し、表現する。

ウ 市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。

#### (3) 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 ②市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解している。	①対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について、多面的・多角的に考察し、表現している。	①市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

#### (4) 単元について

本単元は、中学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）社会のうち、公民的分野の内容B「私たちと経済」(1)市場の働きと経済の一部に基づき設定している。

本事例では、この単元を見通した「問い」を「賢い消費者になるためにはどのようなことが必要だろうか。」と設定した。単元の導入で、単元を見通した「問い」に対する予想を立てさせ、単元の途中で、単元を見通した「問い」に対する予想を基に学習を振り返らせ、単元のまとめで、学習で身に付けたことを活用して取り組む課題や単元を見通した「問い」について考えを深めさせる単元構成とした。本事例では、単元の導入における指導の工夫について、単元を見通した「問い」に対する予想を立てさせ、単元の学習の見通しをもたせる活動に視点を置いて検証授業を行う。これまでの学習を踏まえ、付箋を用いて意見を整理しながらグループでの話し合い活動を行い、本時のまとめで、単元の学習計画と学習で身に付けたことを活用して取り組む課題を単元のワークシートを用いて示し、生徒が本単元における学習の見通しをもつことができるようにする。

(5) 単元の指導計画と評価計画 (10 時間扱い)

○ 「評定に用いる評価」 ● 「学習改善につなげる評価」

	目標	学習活動・学習内容	評価の観点		
			知	思	態
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     単元を見通した「問い」「賢い消費者になるためにはどのようなことが必要だろうか。」                 </div>					
第1時 [本時]	・単元を見通した「問い」に対する予想を立てたり、今後の学習計画を確認したりすることで単元の学習の見通しをもつ。	・付箋を用いて意見を整理しながらグループでの話し合い活動を行い、単元を見通した「問い」に対する予想を立てる。			●
第2時	・分業と交換、希少性に着目して、具体的な事例について考察する。	・身近な事例について本時のワークシートにまとめ、グループで紹介し合う。		●	
第3時	・希少性や資源の効率的な配分という視点から家計を設計する。	・生活設計カードゲームを通して、よりよい家計の管理について考える。		●	
第4時	・具体的な事例から需要と供給によって価格が決まる仕組みを理解する。	・コンビニエンスストアとスーパーマーケットで販売されている飲料水の価格の違いについて、需要と供給の視点でグラフにまとめる。 ・第4時までの学習を踏まえ、単元を見通した「問い」に対する予想の修正を行う。	●		●
第5時	・流通の働きが商品の価格や環境に与える影響を理解する。	・プライベートブランド商品やPOSシステムから、流通の仕組みや合理化についてまとめる。	●		
第6時	・エンカル消費の取組について理解する。	・フェアトレードや地産地消などについて調べ、価格面以外で商品購入時に大切になると考えられることについて、グループで共有する。	●		
第7時	・消費者保護の取組について、具体的な事例を通して理解する。	・悪質商法カードゲームで様々な消費者問題について理解し、対策を教科書や資料集で調べる。 ・第7時までの学習を踏まえ、単元を見通した「問い」に対する予想の修正を行う。	●		●
第8時 第9時	・これまでの学習を生かし、よりよい消費生活について多面的・多角的に考察する。	・本単元で学習した内容を基に、消費者に関する課題の一つ取り上げ、課題を解決するためのCM原稿を作成する。		○	
第10時	・単元の学習を振り返り、まとめる。	・前時で作成したCM原稿をグループで発表し合い、相互評価を行う。 ・単元を見通した「問い」に対する考えをまとめ、単元の学習の自己評価を行う。	○		○

(6) 本時 (全10時間中の第1時)

ア 本時の目標

単元を見通した「問い」に対する予想を立てたり、今後の学習計画を確認したりすることで単元の学習の見通しをもつ。

イ 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点、配慮事項	評価規準
導入 5分	・これまでの自身の消費行動について振り返り、単元を見通した「問い」を確認する。	・買ってよかったものや買って失敗したものについて意見交換をさせ、単元を見通した「問い」に対して関心を高めさせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     単元を見通した「問い」「賢い消費者になるためにはどのようなことが必要だろうか。」                 </div>			
展開 35分	・「課題のある消費者」について考える。  ・単元を見通した「問い」に対する予想を考える。	・単元を見通した「問い」に対する予想を立てる際に情報を多く得られるよう、グループで考えさせる。 ・買い物での失敗経験や技術・家庭〔家庭分野〕の既習事項等を参考にして、様々な視点から考えさせる。 ・付箋を用いて意見を整理しながらグループで話し合わせる。	
まとめ 10分	・単元の学習計画を単元のワークシートで確認する。	・単元のまとめ(第8・9時)で実施する学習の中で身に付けたことを活用して取り組む課題を提示し、今後の学習に見通しをもたせる。	ウ-①

ウ 単元のワークシートの工夫例

(右に示したもの。)

- ①単元を見通した「問い」に対する予想を記入する欄
- ②各時間に、単元を見通した「問い」や学習の中で身に付けたことを活用して取り組む課題に関連した内容を記録する欄
- ③中間振り返りを記入する欄
- ④まとめを記入する欄

(7) 成果と課題

ア 成果

単元の学習が終了した際に実施したアンケート調査では、「単元を通して主体的に学習に取り組むことができたか。」という項目に対して、「よくできた」、「できた」と肯定的な回

答をした生徒の割合が89%、「できなかった」、「あまりできなかった」と肯定的でない回答をした生徒の割合が11%という結果となった。また、肯定的な回答をした生徒の記述から、生徒の主体性を引き出す上で次の2点が有効であったと考えられる。

第一に、単元の導入で単元を見通した「問い」に対する予想を立てさせた点である。そ

**消費生活と経済（10時間扱い） 振り返りシート**

3年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

■単元を見通した「問い」 賢い消費者になるためにはどのようなことが必要だろうか？

はじめに：単元を見通した「問い」の答えを予想しよう

①

	学習の流れ	単元を見通した「問い」について考える際に生かせようこと
1	目標 ■単元のはじめに 単元を見通した「問い」についてグループで協力して仮説を立てよう	
2	目標 ■経済の基礎 経済の基本的な見方・考え方を理解しよう	②
3	目標 ■家計の収入と支出 カードゲームで、家のお金を上手にやりくりしよう	
4	目標 ■価格の動き 価格の決まり方を知り、それをグラフでまとめよう	
単元の間まとめ①（予想に追加や修正を加えよう）		
5	目標 ■流通の動き 流通が商品の価格に与える影響を説明しよう	
中略		
10	目標 ■単元のまとめ 「学習で身につけた内容を活用することができる課題」を紹介し合い単元の振り返りをしよう	
おわりに：単元を見通した「問い」の答えを、これまでの学習を踏まえてまとめよう		
④		

の理由として、「はじめに予想を立てたことで、それ以降の学習に対するイメージや興味をもつことができた。」「単元を見通した『問い』の予想に新しいことを追加できるように授業を真剣に聞くようにした。」などの記述が見られたことが挙げられる。第二に、単元の導入において単元の学習計画を提示した点である。その理由として、「(単元の導入で示された)単元の学習計画を見て、次の授業を教科書で予習して臨んだ。」などの記述が見られたことが挙げられる。以上のことから、単元の導入で単元を見通した「問い」に対する予想を立てさせ、単元の学習計画を提示したことが、生徒の主体性を引き出すことにつながり、生徒自らが関心をもって学習に取り組むことができるようになったと考えられる。

単元を見通した「問い」を基に、学習を振り返った内容を単元のワークシートに記録させ、授業ごとに生徒の学習状況を把握して、振り返りが十分に行えていない生徒には、学習の調整を行うための必要な助言・支援を行うことができ、個々の学習調整を促したり、粘り強く学習に向かわせたりすることができたと考えられる。

#### イ 課題

本事例では、特に単元の導入において、①生徒が単元を見通した「問い」に対する予想を立てること、②単元のワークシートで今後の学習計画を確認することという二つの活動を通して単元の学習に見通しをもたせることに視点を置いた。肯定的でない回答をした生徒の記述から、学習の中で身に付けたことを活用して取り組む課題に対して、取り組むこと自体に困難さを感じている様子や、取り組み方が分からない状況であることを見取ることができた。①と②の活動を個別に行うだけでなく、生徒が立てた予想を学習計画に位置付け、関連付けて生徒に見通しをもたせることで、生徒の主体性をより引き出すことができるのではないかと考えられる。このことを踏まえ、本時のまとめで今後の学習計画を確認する際に、生徒が立てた予想がどの授業と関わるのか、生徒が立てた予想では見られなかったことがどの授業と関わるのかなどを、教師が補足的に説明することが必要になると考える。このことによって、単元を見通した「問い」と関連させ、単元の学習を通して生徒が自ら立てた予想に修正を加えるなどの学習を調整する具体的な方法を考えながら学習に取り組むことができるのではないかと考えられる。

## 2 事例2 歴史的分野

### (1) 単元名

B 近世までの日本とアジア (2) 中世の日本

### (2) 単元の目標

ア 中世の日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる。

イ 中世の日本に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする。

ウ 中世の日本に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする。

(3) 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>①鎌倉幕府の成立、元寇などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。</p> <p>②南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。</p> <p>③農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、民衆の成長を背景とした社会や文化がおこったことを理解している。</p>	<p>①武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>①中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

(4) 単元について

本単元は、中学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）社会のうち、歴史的分野の内容 B 「近世までの日本とアジア」（2）中世の日本に基づき設定している。

本事例では、単元を見通した「問い」を「中世の日本はどのような社会で、どのような人々はその成立に影響を与えたのだろうか。」とし、単元を見通した「問い」を追究したり解決したりするための手がかりとして、「中世の成立に影響を与えた人々のランキングを発表しよう。」を学習の中で身に付けたことを活用して取り組む課題として設定した。本単元を 15 単位時間で計画し、単元の導入の 1 単位時間で、単元を見通した「問い」や学習の中で身に付けたことを活用して取り組む課題について見通しをもたせる学習活動を設定している。また、（2）中世の日本におけるア（ア）から（ウ）までに対応した三つの「小単元」ごとに学習課題を設定し、「小単元」を学習し終えるごとに学習の中で身に付けたことを活用して取り組む課題に対する予想を修正する時間を設け、単元のまとめで取り組むための準備として学習した内容を記録させる。

(5) 単元の指導計画と評価計画（15 時間扱い）

ねらい	
単元の導入 (1)	<p>中世の社会の変化の様子について、見通しをもって学習に取り組もうとし、課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>単元を見通した「問い」 「中世の日本はどのような社会で、どのような人々はその成立に影響を与えたのだろうか。」</p>

小単元 1 (5)	<p>武士の政治への進出と展開などに着目して、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現することを通して、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解する。</p> <p>小単元の学習課題「武士はどのように成長し、政治に進出していったのだろうか。」</p>
小単元 2 (5)	<p>東アジアにおける交流などに着目して、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現することを通して、元寇がユーラシアの変化の中で起こったこと、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解する。</p> <p>小単元の学習課題「モンゴル帝国の拡大は、日本の武家政治にどのような影響を与えたのだろうか。」</p>
小単元 3 (3)	<p>農業や商工業の発達などに着目して、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現することを通して、民衆の成長を背景とした社会や文化がおこったことを理解する。</p> <p>小単元の学習課題「民衆の成長はどのような社会や文化を形づくっていったのだろうか。」</p>
中項目 のまと め(1)	<p>中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>学習の中で身に付けたことを活用して取り組む課題「中世の成立に影響を与えた人々のランキングを発表しよう。」</p>

指導計画と評価計画のうち、検証授業に関わる小単元1の部分を以下に示す。

○「評定に用いる評価」 ●「学習改善につなげる評価」

	目標	学習活動・学習内容	評価の観点		
			知	思	態
第1時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の見通しを立て、学習を通して明らかにしようとしている。</li> <li>・学習課題「武士はどのようにおこり、成長していったのだろうか。」につながる情報を適切に読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が立てた「中世の成立に影響を与えた人々のランキングを発表しよう。」の予想を共有する。</li> <li>・武官の資料などを基に本時の学習課題について追究し、説明する。</li> </ul>	○		●
第2時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題「平氏はどのように政治の実権を握り、どのような政治を進めたのだろうか。」につながる情報を適切に読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平氏の栄華を示す資料などを基に本時の学習課題について追究し、説明する。</li> </ul>	○		
第3時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題「鎌倉を中心とした武家政権はどのように成立し、勢力を拡大したのだろうか。」につながる情報を適切に読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北条氏と源氏の関係を示した系図の資料などを基に本時の学習課題について追究し、説明する。</li> </ul>	○		
第4時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題「鎌倉時代の人々はどのような暮らしをしていたのだろうか。」につながる情報を適切に読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武士の館の資料などを基に本時の学習課題について追究し、説明する。</li> </ul>	○		

第5時 [本時]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題「鎌倉時代にはどのような特色をもった文化や宗教がおこったのだろうか。」につながる情報を適切に読み取る。</li> <li>・鎌倉時代の文化を平安時代の国風文化と比較してまとめ、文化が栄えた背景や担い手などの面から民衆の成長を背景とした社会や文化がおこったことを理解する。</li> <li>・鎌倉新仏教がおこった背景と特色をまとめ、具体的な例を挙げて説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民衆に広まる新仏教の資料などを基に本時の学習課題について追究し、説明する。</li> <li>・小単元1の学習課題についてまとめる。</li> <li>・単元を見通した「問い」について振り返り、「中世の成立に影響を与えた人々のランキングを発表しよう。」の予想を修正する。</li> </ul>	○	○	●
-------------	---	--	---	---	---

(6) 本時（全15時間中の第6時）

ア 本時の目標

- ・ 鎌倉時代の文化を平安時代の国風文化と比較してまとめ、文化が栄えた背景や担い手などの面から民衆の成長を背景とした社会や文化がおこったことを理解する。
- ・ 鎌倉新仏教がおこった背景と特色をまとめ、具体的な例を挙げて説明する。

イ 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点、配慮事項	評価規準
導入 3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材「警策」を基に、鎌倉時代におこった仏教の変化に関心をもつ。</li> <li>・本時のワークシートで課題を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宗教的な内容に関しては深入りしない。</li> </ul>	
展開① 30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のワークシートを基に、鎌倉新仏教がおこった背景と特色をまとめ、具体的な仏教の例を一つ以上挙げて説明する。</li> <li>・学習者用端末を活用した学習教材に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が教師に直接説明し、確認を受ける。</li> <li>・教師に説明できた生徒は、同じ班の他の生徒の学習内容の確認を行い、教え合うように指導する。</li> </ul>	アー①
展開② 7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の説明を聞き、鎌倉文化の特色を平安時代の国風文化と比較してまとめ、文化が栄えた背景や担い手などの面から鎌倉時代の文化の特色について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じてメモを取らせる。</li> </ul>	
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小単元1の学習課題についてまとめる。</li> <li>・単元を見通した「問い」について振り返って考え、「中世の成立に影響を与えた人々のランキングを発表しよう。」についての予想を修正する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を見通した「問い」、単元のまとめで取り組む課題に関わりそうな出来事を書き出させる。</li> <li>・時間内に取り組むことができなかつた生徒には、期限まで</li> </ul>	イー① ウー①

	(学習者用端末を活用した教材(フォーム)に回答する。)	に完成させて提出するように指導する。	
--	-----------------------------	--------------------	--

(7) 成果と課題

ア 成果

本事例では、特に単元の途中において、生徒の主体性を引き出すために、生徒が立てた単元を見通した「問い」に対する予想を振り返らせ、生徒の学習状況を基に助言・支援を行うことに視点を置いた。本単元の学習が終了した際に実施したアンケート調査では、「この学習を通して、あなたは意欲的に学習を続け、単元を見通した「問い」を追究することができたでしょうか。」という項目に対して、「よくできた」、「できた」と肯定的な回答をした生徒の割合が80.2%という結果となった。このことから、本事例で実施した生徒の主体性を引き出すための単元を通した指導の工夫には、一定の効果があったと考えられる。

本事例では、「小単元」ごとに、学習の中で身に付けたことを活用して取り組む課題に対する予想の修正を行わせた。生徒が記述した予想について、教師が助言・支援を行ったことが、生徒の主体性を引き出すことにつながり、その後の学習に対して生徒は課題を意識し、見通しをもって単元の学習を進めることができたと考えられる。以下に生徒の記述と教師の助言・支援について示す。

<p><b>【単元の導入時に生徒が記述した予想】</b> 中世では、武士が実権を握っているから1位にしました。その次に影響力があるのが、古代から活躍している天皇。貴族と民衆が3位。民衆は、農民から武士になった人もいと小学校で学習したから。</p>
<p>●教師の助言・支援 「中世は古代からどのように変わっていくのだろうか。民衆の動きにも注目して」</p>
<p><b>【小単元1を終えた後の生徒の予想】</b> 1位にした武士は幕府をつくったり、荘園を支配したり、上皇を追放したりしたから。2位の民衆は定期市などが開かれるなど産業の発展の影響があったから。3位のその他では僧を選んだ。僧は、多くの新しい仏教をつくり、多くの人々に教えを説いたから。4位は天皇と公家。公家は鎌倉文化で少し貢献しているのではないか。</p>
<p>●教師の助言・支援「武士が成長するには、ある天皇が大きく関わっていたような…」</p>
<p><b>【小単元2を終えた後の生徒の予想】</b> 1位にした武士は力を付け、鎌倉幕府や室町幕府の幕府をつくった。元が攻めてきたときも、武士の力で元軍を退かせたから。(その後に御恩と奉公の関係で問題が起こってしまったけれど。) 2位の天皇は前回の小単元の武士を成長させた白河上皇の存在や後醍醐天皇を考えた。3位はその他で周囲の国や地域(明・琉球王国・アイヌ民族など)を考えた。</p>
<p>●教師の助言・支援「室町時代の文化に注目!どのような文化になるだろうか。」</p>
<p><b>【小単元3を終えた後の生徒の予想】</b> 1位にした武士は、幕府をつくったり、太政大臣になったりする者もいて、中世の中心だと思ったから。2位の天皇は足利尊氏らとともに鎌倉幕府を滅ぼして一時朝廷の政治を取り戻したり、院政によって武士を成長させたりしたから。同率2位の民衆は、技術の進歩によって産業が発達して生活が豊かになっていったから。また成長によって自治を行う村なども出てきたり、下剋上の代表である一揆を起こしたりしていたから。3位は公家で中世の文化の基本をつくっていた気がするから。</p>

## イ 課題

単元の途中で、学習の中で身に付けたことを活用して取り組む課題「中世の成立に影響を与えた人々のランキングを発表しよう。」の予想の修正を行わせた際に、単元の途中段階の評価規準を基に生徒の学習状況を把握し、支援が必要な生徒に対して適切に助言・支援を行うことが課題である。評価規準を踏まえれば、武士や民衆の活躍に着目して考察させることが考えられるが、生徒が多面的・多角的に考察したり、事実を客観的に捉え、公正に判断したりすることを妨げるものがないよう留意する必要がある。歴史的分野の目標の(2)に示された「思考力、判断力、表現力等」に関わるねらいの達成のために、教師の適切な指導について改めて検証していく必要がある。

### 事例3 地理的分野

#### (1) 単元名

B 世界の様々な地域 (2) 世界の諸地域 ③ アフリカ

#### (2) 単元の目標

ア アフリカ州に暮らす人々の生活を基に、その地域的特色を大観し理解する。

イ アフリカ州で見られる地球的課題の要因や影響を、地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。

ウ アフリカ州が抱える地球的課題について、その解決を視野に社会に関わろうとする。

#### (3) 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①アフリカ州で見られる地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。 ②アフリカ州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。	①アフリカ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、アフリカ州の地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	①世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にアフリカ州で見られる課題を主体的に追究しようとしている。

#### (4) 単元について

本単元は、中学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）社会のうち、地理的分野の内容 B 「世界の様々な地域」(2)世界の諸地域 ③アフリカに基づき設定している。

本事例では、単元を見通した「問い」を「アフリカ州の国々はどのような課題を抱えているだろうか。」と設定した。アフリカ州は、貧困や飢餓、モノカルチャー経済への依存やスラムの形成などといった地球的課題を抱えている。このような課題に向き合い、地理的な見方・考え方を働かせながら、アフリカ州の地球的課題をどのようにしたら解決できるかといった「問い」を、単元を通して学習の中で身に付けたことを活用して取り組む課題として設定し、生徒に自分なりの解決策を考えさせ、単元のまとめで、課題を追究したり解決したりする活動に取り組ませる。

(5) 単元の指導計画と評価計画（5時間扱い）

○「評定に用いる評価」 ●「学習改善につなげる評価」

	目標	学習活動・学習内容	評価の観点		
			知	思	態
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     単元を見通した「問い」「アフリカ州の国々はどのような課題を抱えているだろうか。」                 </div>					
第1時	・単元を見通した「問い」に対し自分なりの予想を立てる。 ・アフリカ州の自然環境の特色を理解する。	・提示された資料を基に、アフリカ州がどのような課題を抱えているかを予想する。 ・既習事項を踏まえながら、アフリカ州の自然環境の特色をまとめる。	○		●
第2時	・アフリカ州の多様な民族や文化、宗教について、その地域的特色や課題を理解する。	・アフリカ州の植民地支配の歴史とヨーロッパとのつながり、民族や文化、宗教の多様性についてまとめる。 ・南アフリカ共和国のアパルトヘイトの廃止とその後の課題についてまとめる。	○		●
第3時	・アフリカ州の産業の特色を資料から読み取り、その課題を理解する。	・アフリカ州の農業や、鉱産資源の分布に関する資料を読み取り、モノカルチャー経済の課題をまとめる。 ・フェアトレードの取組について調べる。	○		●
第4時	・アフリカ州が抱える課題を理解し、課題の解決に向けた取組について考察する。	・人口増加による飢餓と病気、ごみやスラムの拡大、砂漠化の広がりなどについて多面的・多角的に考察し、アフリカ州が抱える課題を見だし、まとめる。	○	○	
第5時 (本時)	・「アフリカ州の国々はどのような課題を抱えているだろうか。」について考察し、表現する。 ・アフリカ州の国が抱える地球的課題について追究し、解決しようとする。	・単元を見通した「問い」に対する自分の考えをまとめる。  ・サヘル地域のブルキナファソを取り上げた学習課題を通して、アフリカ州の国が抱える課題の解決策を考える。		○	○

(6) 本時（全5時間中の第5時）

ア 本時の目標

- ・「アフリカ州の国々はどのような課題を抱えているだろうか。」について考察し、表現する。
- ・アフリカ州の国が抱える地球的課題について追究し、解決しようとする。

イ 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点、配慮事項	評価規準
導入 5分	・前時までに単元のワークシートに記入した単元を見通した「問い」に対する考えを発表する。	・単元を見通した「問い」に対する考えを発表させる。最初の予想との違いや学んだことなどを確認させる。	ウー①
展開	・学習の中で身に付けたことを活	・ブルキナファソの人口、GDPなどの	

35分	用して取り組む課題を確認する。	統計資料や、砂漠化の様子を伝える写真などを、黒板に投影しする。	
<p>【学習課題】「あなた方は、NGOの職員です。ブルキナファソの支援に当たり、その優先順位を付ける必要があると考えました。」</p> <p>A ブルキナファソに行く優先すべき支援策を二つ挙げる。</p> <p>B 上の二つを挙げた理由を述べる。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人で、学習課題についての考えをまとめる。</li> <li>班長を中心に、班で話し合い、学習課題A・Bをまとめる。</li> <li>班ごとにまとめた内容を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の分析を班員で行い、特に問題となっていることを話し合わせる。</li> <li>班ごとにまとめたスライドを投影しながら発表させる。</li> <li>なぜそのような考えに至ったのかについて、理由も説明させる。</li> </ul>	イー①
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の内容を踏まえ、単元のワークシートに、単元を見通した「問い」に対する自分なりの気付きや解決策を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アフリカ州で見られる地球的課題と単元を見通した「問い」との整合性や関連性に着目させる。</li> </ul>	ウー①

ウ 単元のワークシートの工夫例（下に示したもの。）

単元の導入で、単元を見通した「問い」に対する予想を立てさせる。単元の途中で、単元を見通した「問い」と関連することをまとめ、記録させる。単元のまとめで、単元を見通した「問い」に対する自分の考えと学習の自己評価を行わせることができるようにした。

<p><b>単元を見通した「問い」</b></p> <p>アフリカ州の国々ほどのような課題を抱えているのだろうか。</p>		<p>3. これまでの学習を踏まえた上で、単元を見通した「問い」に対する考えをまとめよう。</p>	<p>4. 単元の学習を終えて、単元を見通した「問い」に対する自分なりの解決策を提案しよう。</p>
<p>1. 最初に、単元を見通した「問い」の答えを予想してみよう。</p>	<p>2. 授業で学んだことで、単元を見通した問いと関係する内容をまとめよう。</p> <p>① <b>アフリカ州の自然環境</b></p> <p>② <b>アフリカの歴史と文化</b></p>		<p>5. この単元の学習を通して、あなたは意欲的に学習を続け、単元を見通した「問い」を追究することができただろうか。最も当てはまるものを○で囲もう。</p> <p>よくできた ・ できた ・ あまりできなかった ・ できなかった</p>
後略			

(7) 成果と課題

ア 成果

本事例では、特に、単元のまとめにおいて、生徒の主体性を引き出すために、単元を見通した「問い」に関連し、学習の中で身に付けたことを活用して取り組む課題を設定し、社会との関わりを意識して課題を追究したり解決したりする活動に取り組ませることに視点を置いた。単元の学習が終了した際に実施したアンケート調査では、「この学習を通して、あなたは意欲的に学習を続け、単元を見通した「問い」を追究することができただろうか。」という項目に対して、「よくできた」、「できた」と肯定的な回答をした生徒の割合が96%、「あまりできなかった」、「できなかった」と肯定的でない回答をした生徒の割合が4%という結果となった。このことから、本事例で実施した生徒の主体性を引き出すための単元を通じた指導の工夫には、一定の効果があったと考えられる。

単元の導入で単元を見通した「問い」に対する予想を立て、単元の途中でこれまでの学

習を踏まえて予想を振り返り、単元のまとめで単元を見通した「問い」に対する考えをまとめ、学習の中で身に付けたことを活用して取り組む課題に取り組むという一連の流れとなるよう単元の構成を工夫した。このことによって、生徒の主体性を引き出し、単元を見通した「問い」に対する考えを深めることにつなげることができたと考えられる。抽出した生徒の記述を以下に示す。

**【単元の導入時の生徒の記述】**

貧困、干ばつ、衛生面、経済成長、インフラなどに問題がある。食料がない、医者が少ないなどが考えられる。

**【第4時を終えた後の生徒の記述】**

インフラが整っていないから、仕事の効率が下がる。砂漠化がサヘルで進んでいて、農作物の栽培ができない。人口増加が急速に進み、食料が追いつかない。モノカルチャー経済で収入が不安定。貧困が発生し、スラムが増え、衛生面が悪くなり病気にかかりやすい。

**【学習の中で身に付けたことを活用して取り組む課題を終えた後の生徒の記述】**

まずは経済を成長させるため、外国企業を招いて工業化を目指す。お金が入ってきて貧困から抜け出せたら、犯罪が減り、インフラも整えられ、医療や水も整備される。水不足については水道管やタンクを設置すれば農作物をつくることができ、食料不足や栄養不足を解決することができる。

**イ 課題**

本事例から、本単元では当初、「なぜアフリカ州は経済の発展が遅れている国が多いのか」、「どうしたらアフリカ州の国々が抱える問題を解決できるか」という問いを検討したが、生徒の実態を踏まえ、生徒が学習に取り組みやすくなるのではないかと考え、「アフリカ州の国々はどのような課題を抱えているか。」という問いを設定した。このことによって、生徒が課題に取り組みやすくなったものの、比較的容易に単元を見通した「問い」の考えがまとまってしまい、考えを深めることに至らない状況も見受けられた。そのため、単元を見通した「問い」をどのように設定するかが、生徒の単元の学習を見通した学習の進め方に影響していると考えられる。今後、学習内容に応じて、「なぜ」、「どうして」といった原因や要因を問うような単元を見通した「問い」を設定し、系統的に習熟の度合いを高めていく工夫を行うことが大切であると考えられる。

**Ⅷ 研究の成果**

本研究では、単元の導入、単元の途中、単元のまとめのそれぞれにおいて、生徒の主体性を引き出すための指導を工夫してきた。その結果、地理的分野、歴史的分野、公民的分野のいずれの検証授業でも、単元の学習が終了した際に実施したアンケート調査において、「主体的に取り組むことができた。」といった内容の回答をする生徒が多かった。このことから、単元を見通した「問い」と関連した指導の工夫は、生徒の主体性を引き出すことに効果があったと考えられる。本研究における、生徒の主体性を引き出すための単元を見通した「問い」と関連した指導の工夫例を、以下の表にまとめた。

単元 の 導 入	<p>○単元の見通しをもたせるための指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元を見通した「問い」に対する予想を立てさせる。</li> <li>・ 学習の中で身に付けたことを活用して取り組む課題を単元の導入で示すとともに、単元の学習の流れを理解させ、追究の意欲をもたせる。</li> </ul>
-------------------	---

単元 の途 中	○学習を調整する力を身に付けさせるための指導を行う。 ・ 単元を見通した「問い」に対して立てた予想に考えを付け加えたり、修正したりして、学習を振り返らせる。 ・ 生徒の振り返りに対して、追究を深めさせるための助言・支援を行うことで、単元を見通した「問い」に対する考えを深めさせる。
単元 のま とめ	○単元を見通した「問い」と関連した学習の中で身に付けたことを活用して取り組む課題に取り組ませる。 ・ 単元のワークシートを活用して、これまでの単元を見通した「問い」の追究の過程を振り返らせ、自分なりの答えを記述させる。 ・ 単元を見通した「問い」の追究の過程で学んだことや自分なりの答えを踏まえて、課題に対する自分の考えをまとめさせる。

また、本研究では、生徒が単元を通して学習する内容を把握したり、各時間で学習した内容を記録して、振り返りの際に活用したりすることができるワークシートや学習者用端末を活用した教材を開発し、単元を見通した「問い」と関連した指導に活用したことによる生徒の変容について考察を行った。単元を通して使用するワークシートを用いて、単元の導入時に単元を見通した「問い」を示すことで、生徒は見通しをもちやすくなったと考えられる。また、生徒が単元を見通した「問い」と関連したことをまとめ、記録する欄を設けて授業の振り返りを計画的に行うことは、生徒が課題意識をもって授業に取り組むことにつながったと考えられる。以上のように、単元のワークシートや学習者用端末を活用した教材を活用したことで、単元を見通した「問い」と関連した指導を効果的なものにすることができたと考えられる。

## Ⅸ 今後の課題

本研究の課題は、以下の2点である。

○生徒の主体性を引き出すための多様な指導方法について

本研究では、生徒の主体性を引き出すための単元を見通した「問い」と関連した指導の工夫について検討し、生徒の実態に応じた指導を行い、生徒の自らの学習を調整しようとする姿の変容について考察した。学習の調整に向けた取組の過程には生徒一人一人の特性があるため、学習目標の達成に向けて個々の生徒に合った多様な方法で学んでいくことができるようにすることが求められており、今後も多様な指導方法の実践を重ねていくことが必要である。

○「個に応じた指導」について

単元の中で、生徒の学習状況を把握し、教師が助言・支援の必要な生徒に対してより重点的な指導を行うことが必要である。学習の調整がうまく行われていない生徒への助言・支援を適切に行うためには、生徒の学習状況を把握する方法や指導する時期などについて、今後、更なる工夫が必要である。また、毎時間生徒全員の学習状況についての記録を残し、総括の資料とするために蓄積することは現実的ではないことから、「個に応じた指導」を継続的に進めるよう、生徒全員の学習状況を記録に残す場面を精選して適切な評価を行うための指導と評価の在り方について考察し、実践していくことが必要である。

令和3年度 教育研究員名簿

中学校・社会

学 校 名	職 名	氏 名
世 田 谷 区 立 芦 花 中 学 校	主任教諭	船 引 周
足 立 区 立 西 新 井 中 学 校	主任教諭	山 崎 俊 輔
江 戸 川 区 立 小 松 川 第 二 中 学 校	主任教諭	◎渡 邊 修 一 郎
江 戸 川 区 立 西 葛 西 中 学 校	主任教諭	古 沢 大 樹
八 王 子 市 立 横 山 中 学 校	主任教諭	中 西 祥 雄
八 王 子 市 立 松 木 中 学 校	主任教諭	鈴 木 敦 史
八王子市立いずみの森義務教育学校	主任教諭	倉 田 修
町 田 市 立 薬 師 中 学 校	主任教諭	田 代 憲 一
稲 城 市 立 稲 城 第 五 中 学 校	主任教諭	望 月 利 宣
西 東 京 市 立 田 無 第 四 中 学 校	主任教諭	窪 田 将 樹

◎ 世話人

〔担当〕 東京都教育庁指導部義務教育指導課

指導主事 俵 宗次郎

令和3年度  
教育研究員研究報告書  
中学校・社会

令和4年3月

編 集 東京都教育庁指導部指導企画課  
所 在 地 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号  
電話番号 (03) 5320-6849